

期日:2016 年 10 月 8 日(土)~9 日(日)

大会会場:明治大学駿河台キャンパス(〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1)

リバティタワー14F(キャンパスマップ参照):13F または 15F まではエレベーター,

14F へはエスカレーター利用

1143 教室:一般研究発表(口頭), 1141・1142 教室:一般研究発表(ポスター)

交通:JR「御茶ノ水」駅、地下鉄「御茶ノ水」駅、「神保町」駅、「新御茶ノ水」駅よりそれぞれ徒歩5分で会場。なお、学内への車両の乗り入れはできません。自動車, 自転車等での来校はご遠慮下さい。

大会参加費:一般 1,000 円. 学生・院生 500 円

懇親会(8 日):一般 5,000 円. 学生・院生 3,000 円

URL:交通アクセス:[http://www.meiji.ac.jp/koho/campus\\_guide/suruga/access.html](http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html)

キャンパスマップ:[http://www.meiji.ac.jp/koho/campus\\_guide/suruga/campus.html](http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/campus.html)

#### 発表者への注意事項

口頭発表者:PC プロジェクターによる発表者は、Windows 版の PowerPoint 2010 で正常に表示されることを確認したファイルを、USB フラッシュメモリに保存して御持参下さい。休憩時間中にファイルを会場のパソコンに移し、必ず動作確認をしてください。

ポスター発表者:パネルの大きさは横 90 cm×縦 210 cm を予定しています。A0 の大きさの紙なら縦に貼ることができます。ポスターは 8 日 11:00 頃から貼ることが可能です。また、9 日 16:00 までには撤去してください。

#### 昼食・懇親会に関するご案内

8 日(土)には学食(スカイラウンジ暁:リバティタワー17F)を利用できます。9日(日)には学食での食事提供がありませんが、キャンパス周辺に食堂やコンビニエンスストア等が多数ありますので、そちらをご利用ください。

懇親会については、8 日 18:00~20:00 に学生食堂(スカイラウンジ暁:リバティタワー17F)で行います。

#### 大会会場に関する問い合わせ先:

吉田英嗣 明治大学文学部地理学専攻 千代田区神田駿河台 1-1

E-mail: [yoshidah@meiji.ac.jp](mailto:yoshidah@meiji.ac.jp)

#### プログラム注記

\*は筆頭以外の口頭発表者。所属の表記は以下の通りとした。大学、研究所の場合、名称は略さずにそれぞれ大、研とした。ただし、一部の長い研究所名称については略称を用いた。また、法人種別等((株)、(有)、(独)など)、学部・研究科、支所、部署名は省略した。以上の表記で同じ所属となる発表者が3名以上連続する場合は同所属の最後の発表者のみに所属をつけた。

## プログラム

### 10月8日(土)

#### 11:00 ポスター掲示開始

この時間帯にコアタイムを設定しませんが、12:50 までは発表者自身の判断で適宜説明等を行ってもかまいません。

#### 13:00~14:30 口頭発表(1) 座長:早川裕弐(東京大)・渡壁卓磨(京都大・院)

- 01 13:00~13:15 柏谷健二(金沢大): 湖沼堆積物情報と地表環境変動の定量的推定
- 02 13:15~13:30 高谷精二: 新燃岳の噴火でなぜ土石流がなかったか(2)
- 03 13:30~13:45 松四雄騎(京都大)・佐藤達樹(京都大・院)・千木良雅弘(京都大): 阿蘇カルデラ周辺における地震および降雨に伴うマスマーブメント: 類型化と発生場の特徴
- 04 13:45~14:00 奥野 充(福岡大)・鳥井真之(熊本大)・西山賢一(徳島大)・中西利典(福岡大)・横田修一郎(島根大)・九州応用地質学会斜面災害 WG: 平成 28 年熊本地震による阿蘇カルデラ内の斜面崩壊堆積物の地形
- 05 14:00~14:15 佐藤 浩(日本大)・宇根 寛(国土地理院)・八木浩司(山形大): SAR 干渉画像から判読される 2016 年熊本地震による地表変動
- 06 14:15~14:30 目代邦康(日本ジオサービス株式会社)・永田紘樹(北海道地図): 地形学とジオパーク, 世界自然遺産

14:30~14:45 総合討論

#### 14:50~16:00 ポスター発表コアタイム(1)

16:10~17:20 日本地形学連合総会

17:20~17:40 名誉会員推戴式

18:00~20:00 懇親会(スカイラウンジ暁)

### 10月9日(日)

#### 10:00~11:30 口頭発表(2) 座長:瀬戸真之(福島大)

- 07 10:00~10:15 徳永英二(中央大学): 自己相似網とホートン則: 分岐系の考察
- 08 10:15~10:30 山本 博(元・農研機構)・徳永英二(中央大学): 水路内流量に相当する降水量を受容する水路流出区域の設定: 小流域における水理量スケーリング
- 09 10:30~10:45 平田康人(京都大・院)・千木良雅弘(京都大): 花崗岩類のマイクロシーティングと球状風化のメカニズムに関する研究
- 010 10:45~11:00 小松原 琢(産業技術総合研究所): 現代地形学半世紀の発展と私の感じる課題

11:00~11:15 総合討論

## 11:30~12:30 ポスター発表コアタイム(2)

### 13:20~14:50 口頭発表(3) 座長:小暮哲也(島根大)

- 011 13:20~13:35 海津正倫 (奈良大学)・阿部朋弥 (産業技術総合研究所)・Naruekamon Janjirawuttikul (タイ王国土地開発局): 2004年スマトラ島沖地震で津波に覆われたタイ王国ナムケム平野の10年後における地形と堆積物の変化
- 012 13:35~13:50 芹沢真澄 (海岸研究室)・宇多高明 (土木研究センター)・宮原志帆 (海岸研究室): サンゴ洲島における砂州の季節変動 - Maldives Embudu Village 島の例
- 013 13:50~14:05 宇多高明 (土木研究センター)・芹沢真澄・宮原志帆 (海岸研究室): 沖縄本島南部の奥武島周辺のリーフ上における砂浜形成
- 014 14:05~14:20 岩淵博之 (鳥取大・院)・小玉芳敬 (鳥取大): 砂粒の鉱物組成よりみた鳥取県中部・気高海岸の流域流砂系
- 015 14:20~14:35 永田秀尚 (風水土): 岩盤の重力変形によって形成された山腹緩斜面  
14:35~14:50 総合討論

### 15:00~16:30 口頭発表(4) 座長:小花和宏之(ビジョンテック)

- 016 15:00~15:15 Manuel López-Vicente (PD, Experimental Station of Aula Dei, Spain): Effect of LiDAR- and photogrammetry-derived DEM resolution on simulated hydrological features in contrasted agricultural systems (NE Spain)
- 017 15:15~15:30 瀬戸真之 (福島大)・Kim Song-Hyun (National Wetlands Center)・田中幸哉 (慶熙大): 韓国南東部マノ山における水文観測および UAV 画像の解析
- 018 15:30~15:45 小倉拓郎 (金沢大・院)・青木賢人 (金沢大): 高時空間解像度 DSM を用いた手取川扇状地領域における礫の運搬・堆積状況のモニタリング
- 019 15:45~16:00 伊藤晶文 (山形大)・小岩直人 (弘前大)・松本秀明 (東北学院大): 2011年東北地方太平洋沖地震津波後における宮城県井土浦海岸の地形変化—DEM, SfM-MVS による DSM および深浅測量データを用いた検討—
- 020 16:00~16:15 神原規也 (エイト日本技術開発): 細密 DEM データ平滑化処理の地形解析に及ぼす影響評価  
16:15~16:30 総合討論

## ポスター発表

- P1 小倉拓郎 (金沢大・院)・馬場真悟・山田大稀・森 遼平 (金沢大・学)・青木賢人 (金沢大): 手取川上流域の百万貫岩付近における堆積構造の再検討
- P2 石丸 聡・輿水健一・加瀬善洋・川上源太郎 (北海道立総合研究機構)・高木健太郎 (北海道大学): 北海道北部の丘陵斜面における土層厚分布 —地形・地質との関係について—

- P3 渡壁卓磨（京大・院）・松四雄騎（京大）・松崎浩之（東京大）：基盤岩の風化様式と土層の形成速度の違いが差別削剥地形の形成に及ぼす影響：花崗岩と接触変成岩の斜面を事例として
- P4 水戸川 司（島根大・院）・小暮 哲也（島根大）：Nearest Neighbor 法による GNSS データ解析：山陰地域のひずみ分布の推定
- P5 梶山貴弘・藁谷哲也（日本大）：リモートセンシングによる 1989～2015 年のカンボジア・アンコール遺跡周辺における樹林地の減少
- P6 島津 弘・大石雅之（立正大）：ウズベキスタン南部，テルメズ周辺の地形
- P7 若狭 幸・石山大三（秋田大）・Ljubiša Obradović・Vladan Marinković・Vojka Gardić（Mining and Metallurgy Institute Bor）・Stefan Đorđević（秋田大・院）・佐藤比奈子（秋田大）：セルビア共和国東部の鉱山を上流にもつ二つの隣接する流域の水系特性と水質の関係
- P8 小暮哲也（島根大）：シュミットハンマーによる岩盤風化層の特徴把握方法の提案
- P9 Sharma Thakur Santoshi（埼玉大・院）・小口千明（埼玉大）・有賀夏希（東京地図株式会社）・Rajib Mohammad（埼玉大・院）・Tharanga Dashan Udagedara（埼玉大・院）・青木 久（東京学芸大）：塩類析出における局所環境条件
- P10 仲 優太郎（島根大・院）・小暮哲也（島根大）：石見曇ヶ浦における波食棚構成岩石およびノジュールの物理・力学的性質
- P11 小花和宏之（ビジョンテック）・早川裕弐（東京大）：千葉県太東崎雀島における海食崖の詳細な地形変化の把握：UAV を用いた高頻度観測
- P12 若月 強・竹田尚史・青木慎弥・上田真理子・佐藤昌人・猪股泰広・山田隆二・飯田智之・石澤友浩・檀上 徹・池永隆博・篠原 徹（防災科学技術研究所）：熊本地震とその後の降雨による斜面変動の発生場所と土層構造
- P13 瀬戸真之（福島大）・中村洋介（福島大）：2016 年熊本地震における地表地震断層 —UAS と踏査を併用した追跡—
- P14 飯田智之・山田隆二・陳 麒文（防災科学技術研究所）：内陸型地震による深層崩壊危険地域分布図作成の試み—活断層分布との関係—
- P15 土志田正二（消防研究センター）・遠藤 真（消防防災科学センター）・高梨健一（消防研究センター）・細川直史（消防研究センター）：河川地形と河川の水位情報を利用した応急対応支援情報の創出
- P16 澤村朱美（元筑波大・学），八反地剛（筑波大）：花崗岩類を基盤とする山地源流域における流路発生条件—茨城県多賀山地の事例—
- P17 早川裕弐（東京大）・小花和宏之（ビジョンテック）：華厳滝周辺における崖面の経年変化
- P18 宮脇隼輔（鳥取大・院）・小玉芳敬（鳥取大）：鳥取砂丘海岸の粒径分布を千代川河口部・沿岸砂州の地形・堆積物から探る
- P19 羽田麻美（日本大）・南雲直子（土木研究所）・古市剛久（北海道大）・島津 弘（立正大）・伊藤理子（日本大・学）・大岡莉央（日本大・学）・小口千明（埼玉大）；女子中高生夏の学校 2016 報告—フィールドワークを用いた地形学アウトリーチ—
- P20 大上隆史（中央大）・小花和宏之（ビジョンテック）・南雲直子（土木研究所）・早川裕弐（東

京大)・小口千明(埼玉大):JGU 夏の学校 2016「どうすれば九十九里海岸の侵食を止められるか?  
～土砂供給、移動、堆積、侵食の全て～」巡検開催報告